

社会貢献・環境対策委員会

4月11日
本部会議室
出席委員等15人

仙台植林は55人前後に

5月16、17日に仙台市若林区荒浜地区で行う海岸防災林植林活動（仙台共生の森）の内容を最終的に確認した。

この植林は、東日本大震災の津波で被災した海岸防災林を再生させる林野庁の「『みどりのきずな』再生プロジェクト」の一環。日遊協の植林割り当て分は0・16ヘクタールで、クロマツの苗木800

本を植える。16日は下準備作業とし、17日が本番の植林。同日の参加者は日遊協ボランティア派遣隊東北、東京都・関東、九州の3支部隊、社会貢献・環境対策委員会、深谷会長以下役員、本部事務局員に加えて、埼玉県森林サポートアズ4人が同行し、計55人前後となる予定だ。

埼玉県森林サポートアズは同県嵐山町で日遊協が08年から10年計画で進めている「共生の森」里山造成事業で協力を仰いでいる組織で、今回は植林指導のために同行する。

（5ページに関連記事）

広報調査委員会

4月19日

本部会議室
出席委員等10人

2次審査の状況報告 エッセー・絵手紙コンクール

「第3回パチスロ・パチンコ・エッセー・絵手紙コンクール」の2次審査の状況が報告された。第

表彰される。

業界データベースの準備状況が報告された。次回のファンアンケート調査、業界のCSR活動について協議した。

風営法P.T

4月12日
本部会議室
メンバー等9人

質問持ち寄り検討 ECO遊技機の課題



エッセー・絵手紙コンクールの2次審査の状況が報告された広報調査委員会

消費税増税問題について、ホール関係団体消費税WGの検討内容が報告され、増税に伴う賞品交換の在り方などについての進捗状況を確認した。特例風俗営業者に関して、ホール関係団体風営法検討会WGで現行規定の見直しが検討されていることが報告され、その内容を協議した。

議題として継続事項の「遊技機」について、各委員が「ECO遊技機」に関する日工組への質問事項を文書で持ち寄り、それぞれ検討を加えた。日工組とホール団体のコンセンサスを作っていく重要性を認識したうえで、風営法の観点からECO遊技機にどのような問題点や課題があるかさらに整理することになった。

4月12日
本部会議室
出席委員等12人

マネカレ、問題点を整理「フォーラム」は シリーズが有力

今年度事業の3つのイベント（第7回遊技産業マネジメント・カレッジ、人材育成フォーラム、パチンコ産業合同説明会）と店長・管理職能力開発講習・試験について協議した。マネジメント・カレッジは11月21、22日の開催にほぼ決定している。これは日遊協第4回定期理事会の開催（11月21日）に重ねることで、参加者と役員との交流を図るねらいがある。検討すべき問題点として、参加企業が固定化する傾向が見られること、グループディスカッションの成果物となる企画案のあり方、扱い方などが挙げられた。7月ごろをめどにテーマの決定、特別講演者の人選を急ぐことになった。



新年度事業を協議した人材育成委員会

もいずれの回も半数前後が女性で占められた。今年度は7月、9月、来年2月の3回の開催を予定しているが、シリーズ形式を踏襲したいとの意見が多くかった。テーマについては7月の開催をにらんで検討を急ぐことにした。パチンコ産業合同説明会は今年で3回目となるが、前2回（2010年11月、昨年12月）と同様、リクルートの「リクナビLIVE」を活用する方向。協賛企業を非会員からも募ることが確定している。

店長・管理職能力開発講習・試

験は、6月26日の博多を皮切りに来年3月にかけて全国6地域で9

人材育成フォーラムは、前年度は「女性社員が活躍できる組織づくり」を共通テーマに、シリーズで女性社員の問題を集中的に取り上げたところ、会員企業の人事担当者が各開催時に20数人から30数人参加する盛況ぶりだった。しか

回開催することが決定した。講座のテキストについては、ハラスメント項目等の追加をはじめ、項目や語句の追加・訂正・削除など、1回目の開催に間に合うように改訂作業を進めていることが報告された。委員会メンバーの中から、各会場での担当講師を決めた。

景品品関連促進PT

4月9日
本部会議室
メンバー等8人

「コンビニ」関連で協議

4月9日
本部会議室
メンバー等8人

お客様に喜んで持ち帰つてもらえる魅力ある景品の開発、景品持ち帰り促進のための環境整備、コンビニとの提携等について、新年度も引き続き推進していく方向で協議した。

インテラーライフホールディングス（株）の子会社・ファシリティーマネジメント（株）が、東京のピアーカク銀座店に併設して4月2日オーブンさせた小型コンビニ「ミニストップ・ピアーカク銀座店・中央区銀座」の内容が説明された。アシリティー社は、イオングループ「ミニストップ」との協力のもと、全国初のパチンコ店舗併設型「小型コンビニエンスストア」10坪

「CVS」として、昨年5月に「ミニストップ・ピアーカクスタジオ店・足立区竹の塚」をオープンさせており、今回はその2号店となる。

これとは別に、コンビニとの提携についてファミリーマートと話し合った結果が報告された。また、大阪の4店舗で導入しているファミリーマート製の景品の仕入れ・売れ筋状況などが報告された。

依存対策の徹底を

日遊協、会員に要請

日遊協は4月22日、ホール会員に宛てて「パチンコ・パチスロ依

存問題の対策徹底について」と題する要請文を発し、店内でのリカバリーサポート・ネットワーク（パチンコ・パチスロ依存問題相談機関）のポスターと依存予防啓発ステッカーの貼付、子どもの車内放置防止対策の徹底等を呼びかけた。

依存予防啓発ステッカーは、日遊協ホームページのお知らせ【その他】タグの「啓発ステッカーのご注文について」から注文できる。また、「子どもの車内放置防止撲滅キャンペーン」ホームページからは防止対策マニュアルはじめ各種ツールがダウンロードできる。

遊技機委員会

4月16日
本部会議室
出席委員等15人

来年2月21、22日 秋葉原「フェスタ2014」

今年度の事業の1つとして、「パチンコ＆パチスロフェスタ2011」の内容等を協議した。フェスタの目的を、ファン層の拡大、参加性のある企画による更なる遊技者の囲い込み、日遊協の取り組みの業界へのPR——としている。

開催は、来年2月21、22日の2日間、場所はJR秋葉原駅に近いベルサール秋葉原の予定で進められる。初日は業界向け、2日目は一般向けとし、それぞれのイベント

のアイデアを出し合って検討した。また、遊技機アワードを、フェスタと同時開催することを確認した。

前回のフェスタは昨年6月1、2日にベルサール秋葉原で「環境フォーラム+もつと楽しく!!もつと遊べる!!パチンコ＆パチスロフェスタ2012」として開催された。2日間で4626人を集めた。

パチンコ機55台、パチスロ機69台の計124台が2日間にわたり展示され、試打体験をする人たちでにぎわった。

での本年度中は免除することを承認した。

「子ども事故」で文書全般状況・継続」「東日本大震災被災状況」が報告され、了承された。全日遊連は4月18日、日遊協など業界13団体宛てて、「子ども事故防止に向けた全日遊連の取組みについて」と題する参考文書を送付した。全日遊連は同文書を3月21日に傘下の組合員に送付し徹底を図った。全日遊連では5月の大型連休から10月及び年末年始を「子ども事故防止」強化期間としている。



議案を審議する貯玉補償基金理事会



パチンコ＆パチスロフェスタの内容を協議した遊技機委員会

「事業会費」関連で承認

貯玉補償基金理事会

一般社団法人貯玉補償基金（代表理事・深谷友尋日遊協会長）は4月10日、日遊協本部会議室で第47回理事会を開き、1議案を審議した。

センタ事業者「事業会費」徴収免除の件について審議され、東日本大震災に伴う被災加盟11店（営業不能または休業）に対応する「事業会費」の徴収を平成26年3月ま

日遊協ホームページ更新情報

私たち企業市民として、環境保全や社会貢献に努めています。

「日遊協」で検索!

東日本大震災から、この3月11日で満2年を迎ることになりました。当協会としては、お亡くなりになられた方への哀悼の意を改めて表しますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。当協会は震災発生以来、被災地へのボランティア支援活動を行ってまいりましたが、今回防災林復旧の「みどりのさず」プロジェクトに参加する等、引き続き支援活動を続けてまいります。

店長・管理職能力開発講習のご案内

店長・管理職能力開発講習・試験のご案内

店長・管理職能力開発 Q&A

店長・管理職能力開発 Q&A

遊技機取扱主任者講習・試験のご案内

遊技機取扱主任者講習・試験のご案内

店長・管理職能力開発 Q&A

店長・管理職能力開発 Q&A

協会活動 平成25年度 店長・管理職能力開発講習のご案内

イベント/セミナー 講習・試験 委員会活動 その他

2012/04/10 東日本大震災 日遊協ボランティア派遣再開 今年の第二陣 東京都・関東支店8人が3月27日～28日 気仙沼でワカメ作業支援

2011/06/14 東日本大震災 被災金のご協力ありがとうございます

2011/05/24 東日本大震災 日遊協ボランティア活動 市内で民家の泥出しお作業などを実施

2011/04/01 東日本大震災 日遊協ボランティア活動 市内での瓦礫の運搬作業などを実施

協会活動 委員会活動を紹介するブログをご覧下さい

委員会活動を紹介するブログ

Copyright © 2013 Nichiyukyo. All Rights Reserved

「子ども事故」で文書全般状況・継続

「子ども事故」が報告され、了承された。全日遊連は4月18日、日遊協など業界13団体宛てて、「子ども事故防止に向けた全日遊連の取組みについて」と題する参考文書を送付した。全日遊連は同文書を3月21日に傘下の組合員に送付し徹底を図った。全日遊連では5月の大型連休から10月及び年末年始を「子ども事故防止」強化期間としている。